

ストッパー設置マニュアル

【1】ストッパーについて

ストッパーは、誤って作業帯に進入してきた車両の自重を利用し、装置底部の特殊ゴムと路面との摩擦抵抗で車両の制動力とあいまって強制的に車両停止距離を短くすることにより、現場作業員のみならず、進入車両の搭乗者の安全も確保できる商品です。

【2】ストッパー設置についての適用条件

自然条件

- 路面の凍結及び積雪がある路面では効果が発揮できません。
- 湿潤路面では乾燥路面に比べ停止距離が長くなります。

現場条件

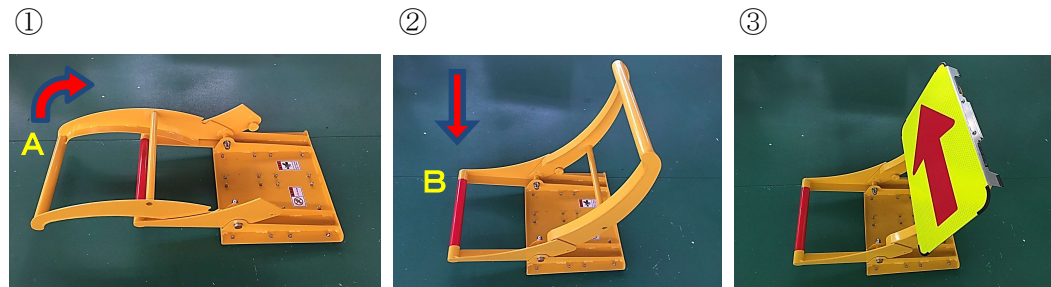
- 制限速度40km/h以下の一般道路での使用を対象とします。
(進入時の速度が40km/hを超える車両については制動効果は期待できません。)
- 設置場所は、アスファルト路面・コンクリート路面に限ります。
(轍等を避け平坦な場所に設置します。)
- 工事車両、規制車両後部から最低15m以上離れた位置に設置します。
- 配置は車両の予想進入方向に正面を向けて設置します。
- 本体下部のゴム面に、砂・土・油等が付着している場合は排除して設置します。
- 設置時路面も同様に砂やゴミ等がある場合は、排除した後に設置します。
- 大型車両、改造車等一部の車両については制動効果は期待できません。

維持管理

- 設置・収納・運搬・保管時、投げたり・引きずったりしないでください。
(機能の低下が発生する場合があります。)
- 車両衝突等により損傷した装置は、変形の大小に関わらず交換してください。
- 装置底部のゴムは劣化を考慮し、3年を目処に交換してください。

ストッパー 仕様	
型式	HS-40-STP1
重量	11.5kg
寸法 (mm)	
・設置時	W530×L 696×H693
・収納時	W530×L1020×H208

◎設置方法



① Aのパイプを持ち上げ、マスト部分を立ち上げてください。

② Bのパイプが一番下まで下がっていることを確認してください。

③ 最後に矢印板を取付けて完成となります。車両進入方向に対面するよう正面に向け設置してください。

設置の注意点

- 設置にあたり、②の状態において、円弧状の可動部分がスムーズに動くか確認してください。
(軽く手で押せば動く状態になっています。あまり緩いと、風等で倒れる場合があります。) 緩んでいる場合は、回転軸のネジで調整してください。また、固く締めすぎると可動しませんが注意してください。
- 工事車両、工事規制車両とストッパーの間にガードマンを立たせないでください。
(進入車両があった場合、挟まれる可能性があります。)

◎衝突実験結果 (停止距離データ)

条件: 衝突後、ブレーキを踏む設定にて実験

テスト車両 トヨタカムリ2,000cc

路面状態	設定速度	ストッパー無し	ストッパーブレーキ有り
ドライ	30km/h	6.1m	4.1m
ドライ	40km/h	8.8m	6.2m

※ 記載のデータは正面より衝突した場合の実験数値となります。
実際の道路状況及び事故状況等によっては、上記数値とは異なる可能性があります。